

プログラム名	ボランティア活動を考える			
団体名	認定NPO法人さわやか青少年センター			区分 講 教
対象者	☐ 小 ☐ 中 ☐ 高 ☐ コ	全学年対象 対象分野 ☐ 学校 ☐ 学外 ☐ 研修	ボランティア活動活性化ツール「ふれあいボランティアパスポート」を活用。	

プログラムのねらい

「ボランティア活動」という体験活動をなぜするのか。「ボランティア活動」をすると何が変わるのか（誰が喜ぶのか）。みんなで考え、答えを見つけていくことを目的としています。

プログラムの内容

必要コマ数 2コマ

■授業は2コマ。

■1コマ目（45分）

テーマ：「ボランティア活動を考える」

①導入：（3分）

- 自己紹介・本日の流れ

②展開：（37分）

- 自分が考えるボランティアのイメージについて児童生徒発表
- どれがボランティア？：イラスト10枚からボランティアを選び出す。
- 「ボランティア活動」について講義

③まとめ：（5分）

■2コマ目：グループ活動（45分）

テーマ：「どのようなボランティア活動をしたいか。」

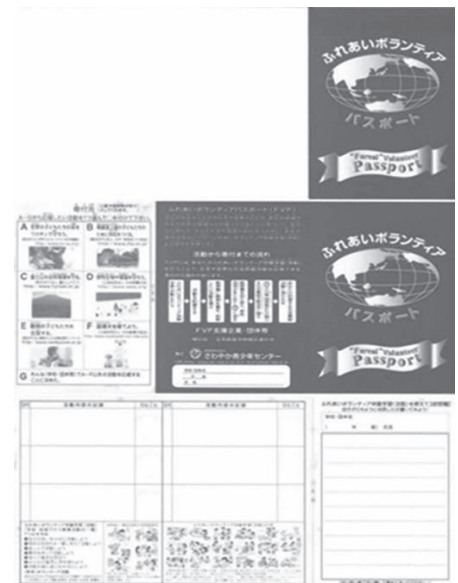
①導入：（3分）

- 1コマ目の振り返りと本日の流れ

②展開：（37分）

- グループに分かれて、自分たちのしたいボランティア活動を決める。
 - ・なぜその活動に決めたのか。（理由）
 - ・それを行うことによって何が変わる（誰が喜ぶ）と思うか。（結果）
 - ・どのように取り組むのか。（方法）
- グループによる発表

③まとめ（5分）



令和5・6年度実績	☐ 小学校 ☐ 中学校 ☐ 高校 ☐ 特別支援学校 ☐ その他（ ）
	令和5年度実績（都内） 校（回） 令和6年度実績（都内） 校（回）
	☐ 教科（ ） ☐ 道徳 ☐ 総合的な学習の時間 ☐ 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） ☐ 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） ☐ 教員対象研修 ☐ PTA等保護者対象研修 ☐ 学童クラブ・児童館等のイベント ☐ その他（ ）

支援活動の概要紹介

当法人は、ボランティア体験学習を通して子どもたちが「人間力」（自助の力と共助の力）を自ら育むよう支援する団体です。上記プログラム以外でも、ボランティア体験学習に関するさまざまなノウハウを持っています。ボランティア体験学習の児童・生徒向けの授業や教職員、コーディネーターへの研修など、いつでも、ご連絡、ご相談ください。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談（実費等） 可能な限りにおいて、交通費（実費）を希望。
その他 会場・定員・必要備品 などについて	2コマ目のグループ活動において、グループ数に応じた模造紙とマジック（2色かそれ以上）を準備いただきたいと思います。難しい場合は、ご相談ください。		
連絡先	部署名・担当者	ふれあいボランティアパスポート担当・有馬 正史	
	プログラム紹介 WEB		
	電話	03-6279-9236	
	e-mail	info@ssc-npo.or.jp	